

市町村立 学校栄養職員

浅川町立浅川中学校
(浅川町学校給食センター)

令和6年度採用

わたしを表すKEYWORD

東日本大震災

東日本大震災のときに長期間学校給食が提供されなかった経験をし、学校給食の意義は栄養の摂取だけではなくたこともながらに感じたことが栄養士になったきっかけでした。大学院では、この経験をもとに災害時の学校給食に関する研究をしていました。

チャレンジ精神

臆病な性格であるため、なかなか一歩踏み出せず、決断に時間がかかってしまいます。そのような性格を克服するためにも、毎月の献立で必ず1つは新メニューや新しい調理法に挑戦することをマイルールとしています。

着物旅行

運転初心者

ひとり時間



理論と実践を横断し、福島の給食を支える力に。

給食センターでは、衛生管理、食材の検収作業、献立作成、食材発注、お便り作成、食育教材作成など、給食を提供する上で必要な仕事をしています。

給食センターにいと子どもたちの声を聞く機会が少ないため、感想をいただけると嬉しいです。子どもたちの声がより良い給食を提供するための大きなエネルギーとなっています。

学校栄養職員を目指した理由

単刀直入ですが「給食が好きだから」、そして「地元福島が好きだから」です。栄養素の摂取、生きた教材、楽しみなど多面的な役割を果たせることに給食の魅力を感じました。また、栄養士として地元福島県で貢献したいという思いから志望しました。



↑ 教室で巡回指導をする様子

職場の雰囲気

調理員さんはみなさん活気があり、「こうしたらもっと美味しくなるのでは？」など意見を積極的に伝えてくださる素敵な方々で、より良い給食を一緒に目指してくださっています。所属校の先生方も、毎日顔を合わせることはありませんが、温かく見守ってくださっています。

とある一日のスケジュール

- 7:30 始業
- 8:00 検収作業、献立作成、諸帳簿管理
- 10:15 調理室に入り、出来上がりの確認
- 11:15 調理員さんと打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 12:45 献立作成、食材発注、学校の連絡ファイル確認、会計作業、事務処理、食育教材作成など
- 16:00 終業

仕事の覚え方



学校栄養職員は一人職となる場合が多いことから、近くに頼れる人がいません。そのため、分からないことがあれば前任の先生や初任者指導員の先生に都度聞くようにしています。

どちらの先生も私の不安や悩みに寄り添ってくださり、出会えて心から良かったと思っています。

←給食の仕上がりを確認する様子

この1年間で、印象に残った経験

チーズタッカルビやジャージャー麺など、勤務地で初めて提供したメニューはどれも印象に残っています。何度も試作を重ねて、無事に提供できたときは心から安心します。

また、がん教室の講師として「がんと食事」について小学5年生にお話しさせていただきました。直接子どもたちと接することができ、普段とは違うやりがいを感じることもできました。



↑新しいメニューに挑戦！

学校栄養職員として実現したいこと、目標としていること

将来的な目標は「根拠に基づく実践」ができる学校栄養士になることです。学校給食を提供する上で、理論と実践はどちらも欠かせないものであると思っています。日頃から根拠やエビデンスに基づいて給食運営や食に関する指導をすることはもとより、その実践が新たなエビデンスとして還元できる栄養士になりたいと思っています。